

令和5年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第七小学校 第5学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該学年までの漢字の知識を身に付けさせること。 ・前後の段落、場面を意識しながら読解させること。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明らかにした文章を書かせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに小テストを行い漢字の定着の確認をし、未修得児童には個別に課題を出して修得できるよう指導する。またノートやワークシート、作文などの中でも文字指導を徹底し、日常的に活用できる力を身に付けさせる。 ・文章を書くときや、それを表現するときには、必ず自分の考えの根拠となる事柄に立ち戻らせたり、思い浮かべさせたりして明らかにするよう指導する。 	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の再テストや既習の漢字を使うよう意識させたが、まだ声かけが必要な場面もある。 ・本文に実線を引いて文や段落のつながりを意識する児童が増えた。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠となる資料や経験をもとに文章を書こうとする児童が増えた。
社会	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取り、必要な情報を活用させること。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを実生活と結びつけ、社会を構成する一員としての行動に生かすこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取るときに大切なことを指導し、写真、グラフ、表などの基本的な読み取りができるようにさせる。そのうえで、考察するときには、変化や新しく現れたこと、それにかかった年月などの視点を与えて、考えを導き出しやすいように指導する。 ・学んだことが、自分の生活の中の何とつながっているかを考えさせ、自分ができることは何か気付かせるなど、社会的なものの方や考え方をもった行動ができるよう指導する。 	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料やグラフの読み取りの視点を与えたことで、必要な情報を活用しようとする意識につながった。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことが実生活の中で利用されている事例を資料とともに示したことで、具体的な場面を想起できる児童が増えた。
算数	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数、分数を含めた基礎的な計算を確実にできるようにさせること。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式や図、表やグラフ、言葉などを用いて考えを表現させること。 ・自分の考えと違う意見を比較検討できるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習や家庭学習、授業の導入の時間を活用して、繰り返し計算問題に取り組みせ、計算力を定着させる。 ・自らの考えを発表・検討する場面を多く取り入れる。その際には、個人での考察、少人数のグループでの考察、全体での共通理解と広げていき、自分の考えに自信をもって表現できるよう指導を工夫する。また、式や図から考え方を連想させる学習にも多く取り組みせ、数学的に表現することに慣れさせる。 	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数学習で個別の支援をすることで、基礎学力の定着に向けて復習しようとする児童が増えた。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声かけを通して算数の言葉を使って考えを表現しようとするようになった。 ・意見を比較して、違いを考えようとするようになった。
理科	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験の正しいやり方を理解し実践させること。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の内容を生かして、予想や仮説に根拠をもたせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験を行うときの条件のそろえ方、正しい用具の扱い方を身に付けさせ、効果的な観察や実験ができるよう指導する。 ・予想を立てさせるときには、「変化」や「時間」など明確な視点を与える。また、自分の生活経験や既習事項を踏まえて根拠をもって考えさせるようにする。 	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題を確かめて、教師の助言を受けながら自分たちで実験計画を考えることができるようになった。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の内容を想起させる声かけをすることで根拠のある予想をさせることができた。
音楽	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き、呼吸や発声の仕方に気を付けて、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けさせること。 ・音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けさせること。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・即興的に音楽をつくる活動を通して、音楽づくりの発想を得ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・録音した歌声を聴き、歌声の特徴や呼吸の仕方を振り返りながら、曲想に合った歌い方を話し合っ歌うようにする。 ・児童の実態を十分に考慮し、優しいリズムや旋律の演奏から徐々に難易度を上げるなど、継続的に取り組むようにする。 ・動画を活用し、正しい楽器の奏法を学べるようにする。 ・即興的に表現する中で、児童が思い付いた考えを、実際に音に出して確かめていくようにする。 ・グループでつくった音楽を聴き合い、音楽の特徴やよさを伝え合う活動を取り入れる。 	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸や発声に気を付けながら響きのある声で歌う技能を身に付けることができた。録音したのを見せ、よりよい歌い方を話し合う学習を取り入れたことは有効だった。 ・音色や響きに気を付けながら合奏する技能を身に付けることができた。タブレットを活用して見本演奏を見せ、正しい楽器の奏法を示したことは有効だった。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・即興的に音楽をつくり、音楽づくりの発想を得ることができなかった。音を試したり、グループなどで話し合う時間を確保して音楽づくりを行うことが必要だった。
図画工作	<p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の経験や感じたこと、気持ちや願いなどを基に発想を広げさせ、見つけた主題に合わせて既習の表現方法を試したり、組み合わせたりしながら制作に取り組みさせる。 	<p>自分の経験や感じたことを基に主題を見つけられるように、子供同士で話し合う機会を設けたり、考えを紹介したりして具体的な例やイメージをもたせる。題材の導入やイメージシートを活用して、主題を見つけやすくする工夫をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の表現技法や参考例を提示することで表現を工夫させることができた。一方で、子供に自分の経験や気持ちなどを、抽象的なイメージをもたせることが困難だった。コロナ禍で生活体験が乏しいことで、ゲームやキャラクターを主題にしてしまう子が多いことが課題である。
家庭	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理や裁縫の基礎的な技能を定着させること。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを、生活経験の中で見つけた課題解決に生かしたり、それを友達と共有したりさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業では、計画、実習、振り返りの流れを大切に、見直しをもって学習をさせる。また、友達同士で教え合ったり、学習サポーターの力を借りたりするなどして、じっくりと時間をかけて技能を習得できるようにさせる。 ・生活のどんな場面で活用できる技能となるかを具体的に想起させ、そのとき家族の一員としての役割を担える力を身に付けさせる。 	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力して活動する中で、ほとんどの児童が基礎的な技能を身に付けることができた。休業中の課題などを通して引き続き技能を高めていく。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班活動は考えを深めることにおいて有効だった。
体育	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達の動きから改善点を見つけ、技能を向上させること。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の心身の健康への関心を高め、健康な生涯への意識付けをさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの活動を中心とした学習の流れを定着させ、グループの中でめあての確認をさせたり振り返りをさせたりすることで、お互いの良さを認め合い高め合える学習環境作りをする。 ・学習カードを活用したりICTで記録を蓄積したりして、学習を通して自分の心身の成長を確認させる。そのことから、健康の大切さや運動に取り組むことへの意識を高めさせる。 	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの中で互いの動きを見合っ改善点を伝えあうことで技能を向上させることができた。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを使って振り返りをする中で自身の生活を振り返り、見直そうとすることができた。
外国語	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月、曜日、数といった基本的な単語を習得させ、相手に尋ねる構文について理解させること。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを活用して、英語を用いたコミュニケーションを積極的に経験させること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し声に出して練習することで、自信をもって表現できるように指導する。また表記と発音が一致するよう、単語絵カードなどを必ず用意し、視覚と聴覚の両方で理解できるようにさせる。 ・ゲームやアクティビティを多く取り入れて、楽しい雰囲気の中で表現活動に取り組めるよう、学習の流れを工夫し指導する。 	<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、発音を確認したり、意味を調べて伝えたい言葉を選んだりすることで関心が高まり、構文を理解しようとする児童が増えた。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の表現を楽しみながらゲームに取り組むことができた。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもち、表現させること。 ・道徳的価値について自分の考えを深めさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を考えるときの視野を広げさせるため、具体的な人物像や生活環境を挙げて考えさせるなど、自分だけではなくいろいろな立場から想像する活動を多く取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の立場や考えを整理したことで自分なりの考えをもつことができた。 ・友達との意見交換を通して自分とは異なる見方に気づき、ワークシートに記録する児童が増えた。
総合的な学習の時間	<p>〈思考力・判断力・表現力〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、解決への道筋を設定したうえで、適切な資料を取捨選択し、伝えたい内容をまとめさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、課題解決に向けての学習計画の立て方を身に付けさせ、筋道を立てて考えることの大切さを理解させる。それに沿って取り組ませ、その都度調べ方を修正させたり調べことを加えさせたりしながら、考えをまとめさせていく。 ・まとめたものを友達と交流させ、新しい考えやさらに知りたいことに気付かせ、自分の考えが深化発展する学習になるよう指導する。 	<p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの工夫は児童の考えを整理するうえで有効だった。資料を取捨選択し、出典を明らかにしながら自分の考えをまとめよう意識することができるようになった。



※ 枠の大きさは適宜調整して、1枚に収まるように作成してください。